

どんな仕事しているの？

整備士は“車のお医者さん、

自動車整備士は、自動車の点検、修理、調整、分解、組立を行う国家資格。自動車の仕組みや整備に関する法令などの専門知識と技術を備えた人材です。

県内各地の整備工場、自動車販売店、自動車用品店などで、点検を通じ



自動車整備士の役割について
説明する三浦廣巳会長

て車に不具合が起きないようにしたり、不具合の原因を突き止めて修理したりするのが主な業務です。「メカニック」とも呼ばれるほか、「車のお医者さん、の役割を担うため「カー・ドクター」と称されることもあります。

「地域の自動車整備工場で働く整備士は、気軽に何でも相談できるかかりつけ医のような存在。特定の車種に対応する自動車販売店の整備士は専門医、路上でのトラブルに対応するロードサービスは救急医に例えられます」と話すのは、県自動車整備振興会の三浦廣巳会長。

「近年、電気自動車や自動運転などの技術革新が進み、整備士の業務内容は広がっています。ドライバーや歩行者の安全を守り、物流などのインフラを支える立場として、社会になくしてはならない仕事です」

新技術次々と、人材育成に対応

自動車整備士は1～3級と、「特殊」の4種類に分けられます。同じ1級でも大型、小型、二輪の資格があり、それぞれ業務内容が異なります。ほかに法令により定められた自動車検査（車検）を行う「自動車検査員」という国家資格もあります。また各自動車メーカーが独自の整備資格を設けており、働きながらキャリアアップできることが魅力の一つです。

県自動車整備振興会も県内の整備士のキャリア形成を支援しています。国家資格の取得を目指す人に向けて、技術講習を実施。整備工場の新入社員や中堅社員を対象に人材養成講座も開いています。

また先進技術への対応をサポートするため、昨年度から、電子制御装置の整備を学ぶ研修もスタート。自動運行装置などの整備に対応できる工場

を増やす取り組みを進めています。

自動車整備士の種類

1級	大型自動車整備士 小型自動車整備士 二輪自動車整備士	
2級	ガソリン自動車整備士 ジーゼル自動車整備士 自動車シャシ整備士 二輪自動車整備士	
3級	自動車シャシ整備士 自動車ガソリン・エンジン整備士 自動車ジーゼル・エンジン整備士 二輪自動車整備士	
特殊	自動車タイヤ整備士 自動車電気装置整備士 自動車車体整備士	

INTERVIEW

「修理の時こそ、腕の見せどころです」



東幸自動車 菊地 裕之 さん

由利本荘市の東幸自動車で働く菊地裕之さん(39)は、自動車整備士の国家資格を取得して19年目。小学生の頃、整備士の叔父に憧れたことが、この仕事を志すきっかけになりました。「叔父は年代物のRV車をとても大切にしていました。『この車じゃないとだめなんだ』と話す姿が格好良かった。叔父のように手に職を付けたいと考えました」と振り返ります。

仙台市の専門学校で学び、2級自動車整備士を取得。自動車販売店勤務を経て、現在の職場に移りました。自動車検査員の資格も持ち、業務の中核を担っています。

車検や定期点検、修理など幅広い業務に対応していますが、中でも、腕の見せどころは車の不具合を探す時だといいます。

顧客から車両の状況を聞き取った上で、異音や振動などを手かりに故障箇所を探ります。先輩や同僚と相談しながら作業を進めます。

菊地さんは「原因を突き止めるのに数日かかると、もやもやした気持ちが続きます。でも原因を見つけて直し終わると、知恵の輪が解けた時のようにすっきりした気分になる。お客さんが喜んでくれる姿を見た時も、やりがいを感じます」と語ります。

整備工場には、自家用車や農作業用トラックなど多様な車種が運び込まれ、生産された年代もさまざま。定期的に点検を引き受けている車両のうち、最も古いものは菊地さんが生まれた1982年製のトラッ



クダといいます。「元々古い車が好きなので、自分と同年の車両を見ると気合が入ります。一日でも長く乗ってもらいたいと思って整備をします」と菊地さん。

一方で「電気自動車や最新の車載カメラ、レーダーなど新しい技術も勉強して、しっかり対応していきたい」と話していました。